

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	4312 合意形成と対話のデザイン			開講形態 (隔週偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	48
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜3限				
教室	H405教室				
代表教員	小野 奈々				
担当教員	小野 奈々				
テーマと到達目標	話し合いの中で、結論が出ない、話が脱線する、意見が出にくい、意見がまとまらないと感じたことはありませんか。本科目では、こうした「話し合い(対話)」に注目し、組織やチームの力を引き出すファシリテーション(話し合いを円滑に進める技術)を学びます。グループワークを取り入れ、ゲーム感覚で楽しみながら学べる授業です。他学部・他学科からの受講も歓迎します。				
概要	この科目では、次の4つのプロセスを通して、「話し合い(対話)」についての理解を深めます。 (1) 対話の場をデザインする (2) 話を引き出す (3) 議論を構造化する (4) 合意形成を促す 毎回、グループでのミニ演習を行い、実際に話し合いを体験しながら学びます。 第9回と第14回には、これまでの学びを振り返りつつ、全員が対話の進行役を経験するミニ演習に取り組みます。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション / Google Classroomのチュートリアル				対面授業
第2回	ファシリテーションとは何か(1) 会議や話し合いで困ること				対面授業
第3回	ファシリテーションとは何か(2) ファシリテーションとは何か				対面授業
第4回	場のデザインの技術(1) 目的・目標・論点のデザイン				対面授業
第5回	場のデザインの技術(2) 進め方のデザイン				対面授業
第6回	場のデザインの技術(3) 話しやすい場のデザイン				対面授業
第7回	対人関係の技術(1): 話をひきだすスキル				対面授業
第8回	対人関係の技術(2): 合意しない対話/わからなさへ耐える				対面授業
第9回	演習(1) 対話のデザイン				対面授業
第10回	構造化の技術(1): 議論を構造化する				対面授業
第11回	構造化の技術(2): 議論を「見える化」する				対面授業
第12回	合意形成の技術(1): 合理的な意思決定方法				対面授業
第13回	合意形成の技術(2): 協調的に対立を解消する				対面授業
第14回	演習(2): 合意形成のデザイン				対面授業
第15回	まとめ				オンデマンド型 オンライン授業
成績評価の基準	平常点 (7点×11回) 77点 + オンライン授業点 (5点×1回) 5点 + 演習点 (9点×2回) 18点 = 100点				
履修にあたっての留意事項	<p>(1) ほぼ毎回グループワークがあります。積極的に取り組みましょう。</p> <p>(2) 他学科からの履修を歓迎します。</p> <p>(3) 授業の進行は、履修生の理解度をみながら柔軟に調整します。</p> <p>(4) 本授業では、Google Classroomを使用して授業資料の配信や課題の提出・管理を行います。履修登録が確定したら、授業開始までに必ずGoogle Classroomにアクセスしてください。和光大学のメールアドレスでログインしたうえで、指定されたURLにアクセスするか、クラスコードを入力してクラスに参加してください。一度参加すると、クラスメンバーとして登録されます。</p> <p>【Google Classroomのリンク】 https://classroom.google.com/c/NzkzNjU0NTIwMjI3Zjc=fod5sr2p</p> <p>【Google Classroomのクラスコード】 fod5sr2p</p> <p>(5) 第15回目は、まとめをオンラインで授業で実施します(オンデマンド型)。オンラインのため、第15回目の授業は受講を忘れがちです。忘れずに取り組んで、点の取りこぼしがないように気をつけてください。</p> <p>(6) 期末試験や期末レポートは行いません。その代わりに、毎回の授業への参加状況や演習への取り組み、オンライン課題の提出状況を重視して評価します。欠席や課題の未提出が続かないよう、注意してください。</p> <p>(7) 本授業は参加型のワークを中心に行うため、欠席した場合の代替課題には対応していません。</p>				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	W学科の高学年から順に優先				

◆教科書・教材

教科書以外に必要な 教材費用			
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献	堀公俊 (2018) 『ファシリテーション入門<第2版>』 日本経済新聞出版社.ほか	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支 援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
------------------------	--